

アカマダラハナムグリ

Anthracophora rusticola

兵庫県：A

環境省：情報不足(DD)

種の概要

体長15～21.6mm。前胸背板および上翅はつやを欠き、黄褐色と黒色のまだら模様を呈する。成虫はクヌギやコナラの樹液に集まり、新成虫は晩夏から初秋にかけて発生、そのまま越冬する。幼虫はワシタカ類や大型の水鳥の巣内で見られる。



写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、加東市、豊岡市、朝来市、洲本市、淡路市、淡路島（市町不明）、三田市、加古川市、養父市、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○

特記事項

その後の調査では少し記録が見られる。大型鳥類の巣に依存するため、絶滅危惧の状況にあるが、最近になって生態の一部が解明され、生息情報が増えた。

保護上の留意点